「社会教育関係職員フォローアップ研修 2026」

◆目　的

社会教育主事講習（大学における社会教育主事課程を含む）を修了し、社会教育主事の資格及び社会教育士の称号を取得して、北東北地方の社会教育行政機関や社会教育関係施設等に勤務する職員及び地域や学校等で社会教育士の称号を活かして活動している人々を対象に開催する。この講座を通して、社会教育に課せられる現代的課題や北東北が抱える地域的課題に対応した学習環境の醸成・計画及び立案、事業遂行のためのマネジメント、地域や多様な機関等のコーディネートの資質向上を図っていくことを目指して実施する。

◆期待される効果

社会教育主事・社会教育士の資格取得後、それぞれの現場に戻り実践を重ねていくうえで生じてきた課題や葛藤、見えてきた地域住民の生活課題について、相互学習を深めていくことで、社会教育主事・社会教育士の実践的スキルの向上が図ることができ、地域社会教育の活性化に寄与することが期待される。社会教育主事講習で築かれた「ヨコのつながり」を軸にこの研修を通じて、大学・都道府県教育委員会・社会教育主事・社会教育士間のつながりをより強くすることが期待できる。

◆主催・協力・後援

主　催：岩手大学（教育学部）
共催（予定）：岩手県教育委員会・青森県教育委員会・秋田県教育委員会

◆対　象

・社会教育主事資格、社会教育士(称号)を有する者
・社会教育の取組みに関わっており、今後社会教育士の称号を取得しようとする者
・社会教育の取組みに関心がある社会教育・学校教育関係者

◆定　員

３０名
※原則として申し込んだ時点で受講確定とする。
※定員を大幅に超える場合は、オンデマンド講義を含む講習の全日程に参加する者、北東北３県に在住（勤務）する社会教育主事任用資格または社会教育士の称号を有する者を優先する。

◆受講料

無料　ただし、交流会費・交通費・昼食費は各自負担

◆内　容(講義・演習・実習)

テーマ：<u>「つなぐ力のプロフェッショナルに　社会教育人材に求められるスキル」</u>

北東北地方の社会教育行政機関や社会教育関係施設等に勤務する職員ならびに地域や学校等で社会教育士の称号を活かして活動している者を対象に、社会教育に課せられる現代的課題や北東北が抱える地域的課題に対応した学習環境の醸成・計画及び立案、事業遂行のためのマネジメント、地域や多様な機関等のコーディネートの資質向上を図っていくことを目指して実施する。

令和８年度は、学生と地域をつなぎ交流や協創活動を通じて多様な仲間が出会う場として岩手大学が開設している「イーハトーブ協創ラボ　TOVLAB〈愛称：トヴラボ〉」の運営を行う株式会社 ATOMica に講師を依頼し、コミュニティマネジメントスキルの向上を図る。

コミュニティマネジメントとは、あらゆる組織や地域において、頼り頼られる関係性を増やしていくために、さまざまな手法を用いて、人と人の関係性を結び続けていくことを指す。地域と学校協働やコミュニティスクールの促進のほか、人口減少が急激に進む北東北において、多様化・複雑化する地域課題に対して社会教育人材が求められるスキルの一つとして、人や組織を紡ぎ課題解決に向けた学習の展開が求められる。そのような理由から、コミュニティマネジメントスキルの形成に着目した研修を構想した。

●研修の具体的内容

講義①（オンデマンド）　「こどもの主体的参画と居場所づくり」
こどもの育ちは学校や家庭だけではない。地域で展開される教育活動（社会教育）もこどもの育ちには必要不可欠である。岩手県では 1960 年から「教育振興運動」を提唱し、自治体や学区ごとに、学校・保護者・こども・地域・行政の五者が一体となって教育振興に力を入れてきた。その運動では、体験的な学び(非認知の学び)を重視し、社会教育が担ってきた経緯がある。 近年、「国連こどもの権利条約」の批准や「こども基本法」「こどもの居場所づくり指針」が制定され、こども主体、こどもの参画を基本とした対応が社会教育にも強く求められる。また、青森市では既に「こどもの権利条例」が制裁され、盛岡市でも今年度中の条例策定が計画されている。 このような現代的課題と地域課題から、社会教育の観点から放課後こどもが健やかに育つために必要な地域社会の環境について、理論と実践の双方からアプローチし、こどもの遊びや体験的な学びの意義について検討する。そして、国連子どもの権利条約やこども基本法の理念についての理解を深め、「こども主体」に据えた地域での教育実践の課題や展望について考察していく。

講義②(オンデマンド)　「コミュニティマネジメントスキル」 演習①(対面)　　「コミュニティマネジメントの技法と実践」
社会教育は、元来から住民の自発的な学習欲求にもとづいて行われる自主的自発的な学習活動であり、多様な学習スタイルによる体験的で相互の学びあいを基本にされてきた。しかしながら、働き方や暮らし方が多様化し、地域における住民相互のつながりの希薄化が顕著化してきている。 一方では、地域と学校の協働などに代表されるように、地域や立場、職種を越境した人と人の関係性の紡ぐことが重要視されるようになってきた。 そこで、人や組織を紡ぐことを意図した「コミュニティマネジメント」についての理論と技法を学ぶ。 講義では、社会教育におけるコミュニティ創出についての基礎的な知識を学習する。 演習では、ファシリテーションの技法と学ぶとともに、社会教育の現場どう実践していくか具体的に考察する。

演習②(対面)　　「社会教育実践で生じる課題・悩み・葛藤・喜び」
社会教育主事の資格、社会教育士の称号を取得して、各地で社会教育をはじめとする教育実践や地域づくり活動、福祉活動などを展開していくなかで、新たに生じた課題や葛藤、喜びや手応えを語り合い、自身が培った「経験知」を顧みて相対化を図る。 また、語り合いをとおして共感関係を形成することで、北東北地方の社会教育主事・社会教育士のネットワークの強化を図り、組織や個が連携した新たな取り組みの創出を目指す。

◆

１日目　2026 年　12 月　中旬（オンデマンド）
　ガイダンス
　講義　「こどもの主体的参画と居場所づくり」　90 分
　　岩手大学准教授　　深作拓郎
　講義　「コミュニティマネジメントスキル」　　90～120 分
　　株式会社 ATOMica　代表取締役 Co-CEO 嶋田 瑞生　氏(調整中)
２日目　2026 年　12 月　25 日（金）10:00～16:00
　演習　「コミュニティマネジメントの技法と実践」
　　株式会社 ATOMica　代表取締役 Co-CEO 嶋田 瑞生　氏(調整中)
　　岩手大学教育学部准教授　深作拓郎
　交流会「社会教育への誘い」　18:00～　　※任意参加
３日目　2025 年　12 月　26 日（土）9:30～12:30
　演習　　「社会教育実践で生じる課題・悩み・葛藤・喜び」
　　岩手県立生涯学習推進センター所長　菊池一洋氏
　　岩手大学名誉教授　　新妻二男氏
トータルコーディネーター：岩手大学教育学部准教授　深作拓郎

◆会　場
岩手大学　教育学部 1 号館（予定）

◆受講認定
講習最終日に事務局から提示される課題に対して、指定された期日までに課題を提出する。提出課題について「合」の評価が得られれば「受講証明」を付与する。

◆業務分担
・広報周知・参加促進の環境醸成
　岩手県・青森県・秋田県各県教育委員会
・募集受付
　岩手大学教育学部
・事業の企画・実施
　岩手大学教育学部
・オンデマンド教材の制作
　岩手県教育委員会（岩手県生涯学習推進センター）